

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年12月25日

化学物質等のコード : 0307-4336

化学物質等の名称 : モリブデン酸カルシウム

2.危険有害性の要約

分類の名称: 分類基準に該当しない。

危険性 : 不燃性であり、通常取扱で発火、引火などの危険性は低い。

有害性 : 吸入又は飲み込んだ場合、有害である。

眼、皮膚又は粘膜に触れると刺激、発疹などの症状が現れることがある。

長期暴露により、不快感、吐き気、頭痛などが生じることがある。

環境影響: データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 単一製品
化学名 モリブデン酸カルシウム
含有量 90.0 %以上
(Moとして43%)
化学式・分子量 $\text{CaMoO}_4 = 200.02$
化審法公示番号 1-186
CAS No. 7789-82-4
危険有害成分 モリブデン酸カルシウム

4.応急処置

目に入った場合: 多量の水で15分以上洗い流し、医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合: 汚染された衣服を脱がせ、洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗浄する。医師の手当を受ける。

吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移し、安静保温に努める。医師の手当を受ける。

誤飲した場合: 口をすすがせ、吐かせる。医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れがないよう水スプレーで周囲を冷却する。消火作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。

消火剤: 粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素。

6.漏出時の措置

こぼれた物質を密閉式非金属の容器内に掃き入れる。湿らせても良い場合は、粉塵を防ぐために湿らせてから掃き入れる。残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・取扱い場所には局所排気装置を設置する、使用後は容器を密封する。
- ・漏れ、あふれ、飛散さないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- ・長期や繰り返しの暴露は避ける。

保管

- ・容器は直射日光を避け、冷所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会勧告値 設定されていない。

ACGIH (TLV) TWA 10mg/m³ (Moとして)

OSHA (PEL) 8H TWA 15mg/m³ (total dustとして)

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具
保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護マスク

9.物理的及び化学的性質

外観 白色～微褐色、粉末
蒸気密度 データなし
臭気 データなし
蒸気圧 データなし
沸点 データなし
比重 4.35
融点 965
溶解度 水：不溶、アルコール：不溶

10.安定性及び反応性

安定性・反応性 通常の取扱条件において安定である。
引火点 データなし
爆発範囲 データなし
発火点 データなし

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性
急性毒性 腹腔 ラット LD50 = 208 mg/kg
亜急性毒性 データなし
慢性毒性 データなし
刺激性(皮膚、眼) : データなし
感受性 : データなし
変異原性 : データなし
変異原性(微生物、染色体異常): データなし
皮膚腐蝕性 : データなし
がん原性 : データなし
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし
暴露による影響(単回、反復、連続) : データなし
その他 : データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)
: データなし

12.環境影響情報

魚毒性 データなし
残留性/分解性 データなし
生体蓄積性 データなし

13.廃棄上の注意

隔離法 セメントで固化し、埋め立てる。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)
輸送に関する国際規制
陸上輸送 : 規制なし
海上輸送 : 規制なし
航空輸送 : 規制なし
国連分類 : 非該当
国連番号 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当

15.適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 No.603
法第57条の2(令第18条の2)
化学物質管理促進法(PRTR法) : 第一種指定化学物質 No.453
(改正前PRTR法 : 1-346)
消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
船舶安全法(危規則) : 非該当
航空法 : 非該当

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。